

## 第 25 期第 6 回運営委員会議事録

日時：2010 年 5 月 23 日（日） 17:00-21:00

場所：地球惑星科学連合大会会場（幕張メッセ、203 室）

出席者 17 名（定足数 11 名）：津田敏隆会長、家森俊彦副会長、阿部琢美、石井守、小田啓邦、河野英昭、齋藤昭則、坂野井和代、塩川和夫、篠原育、堤雅基、長妻努、畠山唯達、村田功、山本衛、清水久芳、木戸ゆかり

欠席者 1 名：吉川一朗

### 議事

#### 1. 前回議事録の確認（第 25 期第 5 回運営委員会）

・確認の後、承認された。

#### 2. 協賛・共催関係（清水）

下記の協賛を承認した。

行事名：日本流体力学会 年会 2010、開催期日：2010 年 9 月 9-11 日

開催場所：北海道大学、主催：日本流体力学会

#### 3. 入退会審査（清水）

（1）入会 8 名申請（すべて学生）があり、全員入会が承認された。

正会員（学生）：野村麗子（所属：名古屋大学、紹介会員：塩川和夫・大塚雄一）

正会員（学生）：徳永旭将（九州大学、湯元清文・吉川顕正）

正会員（学生）：原田裕己（京都大学、町田忍・家森俊彦）

正会員（学生）：浅見智子（京都大学、石川尚人・林田明）

正会員（学生）：五井 紫（京都大学、家森俊彦・寺本万里子）

正会員（学生）：最上巴恵（神戸大学、乙藤洋一郎・山口覚）

正会員（学生）：佐藤雅彦（東京工業大学、綱川秀夫・高橋太）

正会員（学生）：上田哲士（神戸大学、山口覚・乙藤洋一郎）

（2）退会 4 名の退会（藤縄幸雄、野上謙一、臼井嘉哉、天野一男）、会費滞納により 3 名の強制退会（升本眞二、趙国澤、大島弘光）が承認された。

#### 4. 会計関係（阿部）

・会計報告のまとめは次回。

・会計監査委員会の任期 2 年。品川裕之会員、橋本武志会員にもう一年お願いする。

・会費滞納者：3 年以上滞納の方に勧告を行う。

## 5. 学会賞関係 (山本)

- ・長谷川・永田賞、名誉会員の推薦の情報交換をおこなった。
- ・学会としてコミュニティを広げるような賞があっても良いのではないか。例えば衛星技術開発、計算機科学、衛星環境、掘削、など、学会周辺領域の方を表彰する。そういった賞を検討するWGを作って、具体的なことを相談する。WG委員：津田、家森、山本、篠原、小田、長妻、歌田。

## 6. 助成関係

### 6-1. 若手国際派遣について (山本)

- ・堀久美子会員の申請 (SEDI 参加) を採択した。金額は、申請された額を認めることにする。
- ・AP-RASC 会議に関して、海外からの招聘の申請が 1 件あったが、AP-RASC は SGEPPS が共催／協賛する研究集会ではないので、この申請は受け付けられないと回答する。
- ・この制度では、減額した額ではなく必要額を認めるように変更したことを総会などで宣伝する。

### 6-2. 国際学術研究集会等への補助 (山本)

- ・申請課題 : 5<sup>th</sup> Alfvén conference on plasma interaction with non-magnetized planets/moons and its influence on planetary evolution : 30 万円の補助を決定した。

### 6-3. 日本学術振興会賞の推薦

- ・1 件の推薦状を出した。

### 6-4. その他

- ・井上學術賞、東レ科学技術賞、猿橋賞、山田科学振興財団などが今後、推薦の機会がある。

## 7. 秋学会関係

7-1. 特別セッションの提案 : 「SGEPSS における最新の月科学」の提案あり。タイトル／文面をより広がりがある形にするように修正して採択。

### 7-2. 秋学会の投稿システムについて

- ・JpGU 連合大会のデータベースを利用する案 (第 1 案、150-200 万円) か、昨年度と同じ投稿システム+データベース新規作成 (第 2 案、約 40 万円) の 2 つの案がある。
- ・JpGU は、なるべく傘下学協会に使ってもらいたい、ということでまとまっている。JpGU と情報を共有しながら進めれば、うまくいくのではないか。
- ・JpGU のシステムを使っている学会は他にはない。JpGU では、SGEPSS をテストケースとして、うまく進めたいのではないか。
- ・年間の running cost は 100 万円 (CD 作成も含む)。

- ・今回は JpGU に合わせるにはタイミングが悪い。JpGU のシステム改変が終わってから JpGU にあわせた方が良いかもしれない。
- ・200 万円という額は、1 ヶ月でシステム改変をするので時間がない、という理由で言われているが根拠が不明。非常に高いという印象がある。
- ・JpGU が新しく作った登録 ID は、お金を払った人しか入っていないはず。昔のデータベースは JCOM/JpGU からは提供してもらえないだろう。
- ・JpGU の新システムの完成は 6 月以降。英語ページが遅れている。今回、SGEPSS の依頼は、英語ページは含んでいない。
- ・第 2 案を採用したら、第 1 案 (JpGU) に戻る場合はまた 150-200 万円がかかる。でも来年度以降に第 1 案に戻るなら時間の余裕があるので、もっと安くなる可能性はないか。
- ・第 2 案なら JpGU のシステム移行に対する時間稼ぎと、SGEPSS ですべてコントロールできる、というメリットがあるが、コントロールするための運営委員の作業が増えるだろう。第 1 案は、より手間の少ない方向である。
- ・JpGU (JCOM) のシステムはまだ不安定で、今後も改修が必要な可能性が高い。そういう状態で JCOM に移行すると、今後も予算がかかる可能性がある。
- ・結論：今回の秋学会は第 2 案で行くことを、次回の総会(5 月 26 日)に提案する。これは緊急避難の措置とし、JpGU 側で準備ができた状態になったら第 1 案に移行する、という方針で今後も JpGU や JCOM と交渉を続ける。

### 7-3. 秋学会 LOC の状況 (石井)

- ・会場は決定済。会場が狭いので隣接する別の会議場を使うめどがついた。プログラムが固まり次第、現地で会場担当と打ち合わせをする。
- ・空港からも「ゆいレール」で、10 分でいける。国際通りにも近い。
- ・ホテルはすでに一部予約日不可になっている。

### 7-4. 平成 23 年度秋学会の検討

- ・近年、秋学会を実施していない地方の大学などで検討する。

### 8. アウトリーチ関係 (長妻)

- ・科研費 100 万円が内定
- ・秋学会の会場近くの「久茂地公民館」でアウトリーチイベントを開催。学会前日の土曜日に開催。
- ・衛星設計コンテストの審査委員 (任期 2 年) を遠山会員 (東海大) から國分会員に移行。
- ・「若手のアウトリーチ」: 大学院生や PD で出前授業をやる提案が出ている。大学のアウトリーチなどで経験し、希望者が多い。学会のアウトリーチ部会の活動として行うとともに、若手の運営委員で実行する。活動を行った若手は実績になるようにする。学生が旅費など

を負担しなければならない場合は、学会として補助をしていく。研究活動に支障をきたさないように指導教員の許可証をとるとともに、保険に加入する。(坂野井)

- ・第4紀学会のシンポジウムのアウトリーチ会合(8月)でSGEPSSに関連した発表を行う(畠山)。

#### 9. 男女共同参画関係

- ・例年通り、秋学会の託児所を手配中。(木戸)
- ・SGEPSSのPDの人数の把握を行う。(坂野井)
- ・JpGUの男女共同参画委員会の副委員長は、坂野井会員がもう1年継続することになった(坂野井)。

#### 10. Web・メーリングリスト関係(堤)

- ・細かな修正を随時行っている。

#### 11. EPS関係報告(齋藤)

- ・出版助成科研費820万円(昨年は1050万円)が単年度で採択された。年々減らされている。テラパブが落札。テラパブとは、科研費がなくなる可能性も含めて相談している。JpGUとの関係は、引き続き関係者と意見交換する。
- ・EPSのオープンアクセスについて、特集号をオープンアクセスにする方向で議論を進めている。
- ・JpGUは、雑誌を作る方向で動いている。来年のJpGUの国際セッションで発表された内容をプロシーディングの形で出して、最終的には、E-letterの形にしていきたい。(石井)

#### 12. 広報(河野)

- ・次回の広報(秋学会の案内含む)は、6月23日〆切、7月16日発行。秋学会投稿〆切予定は7月30日(金)。

#### 13. 分科会について(河野、山本)

- ・グローバル地磁気観測分科会：関係者で相談したが、閉会の方向である。
- ・金星の科学分科会：惑星一般の研究者を集めて「惑星研究サークル」という名前で会合を持っている。今後の名称なども含めて相談し、次回の会報で報告する。
- ・宇宙天気分科会：関連分野の研究者が集合するのはJpGUの宇宙天気セッションなどがあるので、特に分科会がなくても良い。ということで分科会を閉会する。
- ・閉会する分科会に関しては、短くてもよいので、発展的に閉会する趣旨を会報に書いてもらうようにする。

#### 14. その他

- 60周年記念誌は、売れ残りは8冊。うち5冊をJpGUで売る。学会としては15冊を保有。うち2冊は国会図書館に送付。(山本)
- JpGUの教育問題委員会の委員の交代に関して、次の運営委員会で決める。

#### 15. 次回運営委員会などの日程について

- 7月末ごろに開催の予定。

(塩川和夫)